



令和3年6月15日発行

赤田 博正 No.3

私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します

「今日の僕の精一杯」

6月7日(月)に行われた運動会には多くの保護者の皆様に観戦していただき、ありがとうございました。また、PTA役員・おやじの会の皆様のご協力のおかげで、安心・安全な運動会を開くことができました。ありがとうございました。生徒たちの充実した表情、規律ある態度、力を振り絞った競技・演技を見て、うれしくなった方が多かったと思います。私もその一人です。競技、演技だけでなく、係活動や互いに拍手を送り合う姿にも感動を覚えました。特に3年生のリーダーシップに「よくやった。おめでとう」と言いたい。実行委員の、係の、演技の中心となってよくみんなを引っ張ってくれました。長峯実行委員長・中尾生徒会長の言葉にも、勇気もらった生徒が多かったことでしょう。素敵な時間でした。これを糧に、学習に生活により前向きに取り組む姿を期待しています。

さて、毎日生活していると、調子のいい日も悪い日もあります。ベストコンディションの時と、そうでない日では、同じように頑張ったつもりでも結果が違います。これは、スポーツ・勉強・仕事・家庭、どの分野でも同じです。調子が悪くても「今日の僕の精一杯」ができれば、「やり切った」と満足して寝られます。

実はこれは、気持ちを落ち込ませない「魔法の言葉」です。「あーあ、うまくいかなかったな。」と今日の結果に暗くなりがちですが、「今日は調子が悪かったんだから、これが今日の精一杯。今日はこれで十分。」と自分を納得させる言葉でもあります。これで、とりあえず、満足した気になって寝られます。それが「言い訳」かどうかは、実は自分で分かっているのですが・・・。「ま、悪いなりにやれたんだから、また、明日頑張ればいい」と考えれば、暗い気持ちにはなりません。明るい気持ちで生活できると、人は前向きになります。そして、明日もまた「とりあえず精一杯やってみよう」という気持ちになります。

うまくできなくて落ち込むのも、また人生ですが、そんな時「今日の僕の精一杯」だったかどうか、自分に問いかけてみてください。「調子が悪くても、ベストを尽くせなくても、自分なりに何とかやれたなら」「何とか危機を乗り越えられたなら」、それは、もう「今日の僕の精一杯」です。ベストでなくても、うまくいなくても、「今日の僕の精一杯」なら納得できるはずです。「明日も頑張ろう」と思えるはずです。

いつか必ずベストコンディションの日がやってきます。その日を目指して「今日の僕の精一杯」を続けていけたら、きっと毎日「明るく、仲良く、元気な」自分、家族、友人に出会えるはずです。

「今日の僕の精一杯」これは、私のおすすめです。

<6月7月の予定>

6月			7月		
日	曜	主な学校行事	日	曜	主な学校行事
16	水	水泳指導始 校内研修会(生徒指導)	1	木	専門委員会
17	木	学校説明会	2	金	ステップアップ検定
18	金		3	土	
19	土		4	日	
20	日		5	月	三者面談始
21	月	中間考査	6	火	高校の先生の話聞く会(3年)
22	火	中間考査	7	水	
23	水	小中連携研修会	8	木	
24	木		9	金	
25	金	校内研修会(研究授業)	10	土	土曜授業 数検 引き取り訓練
26	土		11	日	
27	日		12	月	朝礼
28	月	朝礼	13	火	三者面談終
29	火	セーフティ教室	14	水	
30	水	校内研修会(教科教育)	15	木	小学生部活動体験
			16	金	職業講話

<生徒の様子>



薬物乱用防止教室。

薬物は一度使ってしまうと、フラッシュバックなど、やめたとしてもいつまでも付きまとう怖さなどを学習しました。また、スポーツの世界で問題となっているドーピングについても教えてもらいました。



第37回運動会。

緊急事態宣言の中、規模を縮小しての実施でしたが、生徒たちは元気に活躍することができました。保護者の皆様には一家庭一人という制約をお願いしてご協力いただきありがとうございます。9割近くのご家庭が応援に来て下さったことを感謝申し上げます。



進路講演会。

ベネッセコーポレーションの浅野様を講師に迎え、最新の進路の情報を教えていただきました。特に大きなところでは、現在の2年生から、英語のスピーキングテストが都立入試に活用されることになる、ということです。1, 2年生は要チェックです。

<生徒の活躍>

バドミントン部

●足立区夏季連合大会 高野 陸英(3年) 第5位

<編集後記>

6月だというのに、天気が良く暑い日が続きましたが、やっと梅雨らしい天気になってまいりました。雨は嫌ですが、その雨が野や山を潤し、我々の大事な飲み水を供給してくれていると考えるとありがたいものです。水の豊富な日本の自然に感謝しながら生活できるといいですね